

3月29日～31日

江戸川区議会民進党

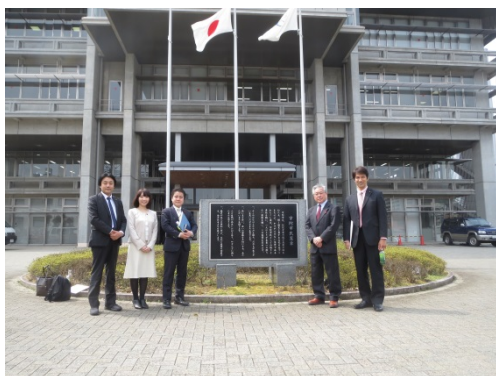
- ・奈良県宇陀市議会におけるタブレット端末の活用について
- ・三重県津市における津市産業・スポーツセンター整備事業について

3月30日

《視察項目》

- ・奈良県宇陀市議会におけるタブレットの活用について
- ・宇陀市議会におけるタブレットの導入目的

毎年大量に配布する議会資料を電子化し、公費で貸与するタブレット端末を用いて、議員が自宅や外出先など、場所を問わずいつでも資料を



宇陀市役所の前で記念撮影する民進党

閲覧することができることにより、議案の審査や調査、議会運営の効率化を図ることを目的としています。

会議システムの選定に際しては、「誰でも簡単に操作できること」、「情報セキュリティを重視したもの」とすることを主なコンセプトとしています、と述べています。

・ 会議システム（タブレット）活用の主な効果

1. 定例会、臨時会、委員会等招集通知を電子化し、通知メールでお知らせ。



宇陀市議会の議場で記念撮影する区議会民進党

2. 議会全体で最新情報を共有できる。

3. 時と場所を選ばず豊富な資料が活用できる。

4. 紙の印刷費、通信費の削減。

5. 資料の配布、回収が不要となり、差し替えも素早く対応できる。

6. 印刷、資料準備等に係る人件費の削減。

タブレット端末導入費用

項 目	導 入 費 用	ランニングコスト
会議システム	80,000円	972,000円・毎年
タブレット購入費	2,837,000円	
Wi-Fi整備	3,418,000円	
ネット回線料金		89,000円・毎年
その他消耗品	143,000円	
合 計	6,478,000円	1061,000円・毎年

3月31日

《視察項目》

・三重県津市における津市産業・スポーツセンター整備事業について

津市総合計画（平成20年3月）

“県都にふさわしい総合的なスポーツ施設の整備、を位置づけた



サオリーナのメイン会場

津市スポーツ振興計画

（平成21年3月）

“県都にふさわしい総合的な屋内スポーツ施設、の整備に着手することとした。

津市スポーツ施設整備基本構想（平成22年5月）

総合的な屋内スポーツ施設の整備方針（施設内容、スケジュール等）を示した。

津市屋内総合スポーツ施設基本計画

学識経験者を含む14名の津市屋内総合スポーツ施設基本計画策定委員会を設置し、計画を進めました。

過去に津市では、開催することができなかつた大規模な大会も対応できるよう観客席を有するバスケットボール3面等が競技可能な広さを有する規模のメインアリーナと並列する、サブアリーナを整備する事とした。また、武道場、トレーニングルーム、ランニングコース、駐車場等を有することで、市民交流の場を提供することができる。なお、日常的な練習等に十分な競技スペースを確保することで競技スポーツのレベル向上にもつながる。

津市屋内総合スポーツ施設設計（平成24・25年）

学識経験者を含む5名の津市屋内総合スポーツ施設設計検討委員会を設置し、設計を進めました。

小椋久美子氏（バドミントン元日本代表）、自らの経験から、競技中の天井の色彩や照明設備、大きな大会でのロッカールームのあり方への意見。

相沢 雅晴氏（特定非営利活動法人MIPスポーツプロジェクト理事・事務局長）施設管理経験から空間の使い方や床の仕様などをはじめ、様々な意見を取り入れとともに、スポーツ団体の意見も踏まえながら設計を進めました。



屋上のスペースにある弓道場

《整備状況》

○設計工事	129億1千万円（平成26～29年度）
・ 建築工事	
・ 電気設備工事	
・ 空調設備工事	
・ 給排水衛生設備工事	
○駐車場整備工事	9億9千万円（平成23～27年度）
○周辺道路整備工事	8億6千万円（平成24～27年度）
○緑地整備工事	2億円（平成28～29年度）
○総額	149億円

施設名称の由来：サオリーナ

オリンピック3連覇を達成するとともに国民栄誉賞を受賞した吉田沙保里選手の偉業を顕彰し、吉田選手の命名により、

「サオリーナ」としました。